

平成28年度奈良県市町村民経済計算

令和元年12月5日

奈良県総務部知事公室統計分析課

目 次

I	平成28年度奈良県県民経済計算(名目)の概要	P 1
II	地域別にみた平成28年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 2
1	地域内総生産(名目)	P 2
1.1	地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)	P 2
1.2	地域内経済活動別構成比(産業構造①)	P 3
1.3	地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造②)	P 4
2	地域別の市町村民所得(名目)	P 6
2.1	地域別市町村民所得(総額)	P 6
2.2	地域別の1人当たり市町村民所得	P 7
III	市町村別にみた平成28年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 8
1	市町村内総生産(名目)	P 8
1.1	市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度	P 8
1.2	市町村ごとの総生産(名目)	P 8
1.3	市町村内総生産の経済活動別構成比	P 9
2	市町村民所得(名目)	P 10
2.1	市町村ごとの市町村民所得(総額)	P 10
2.2	市町村ごとの1人当たり市町村民所得	P 11

平成28年度市町村GDP統計(奈良県市町村民経済計算)について

(目的)

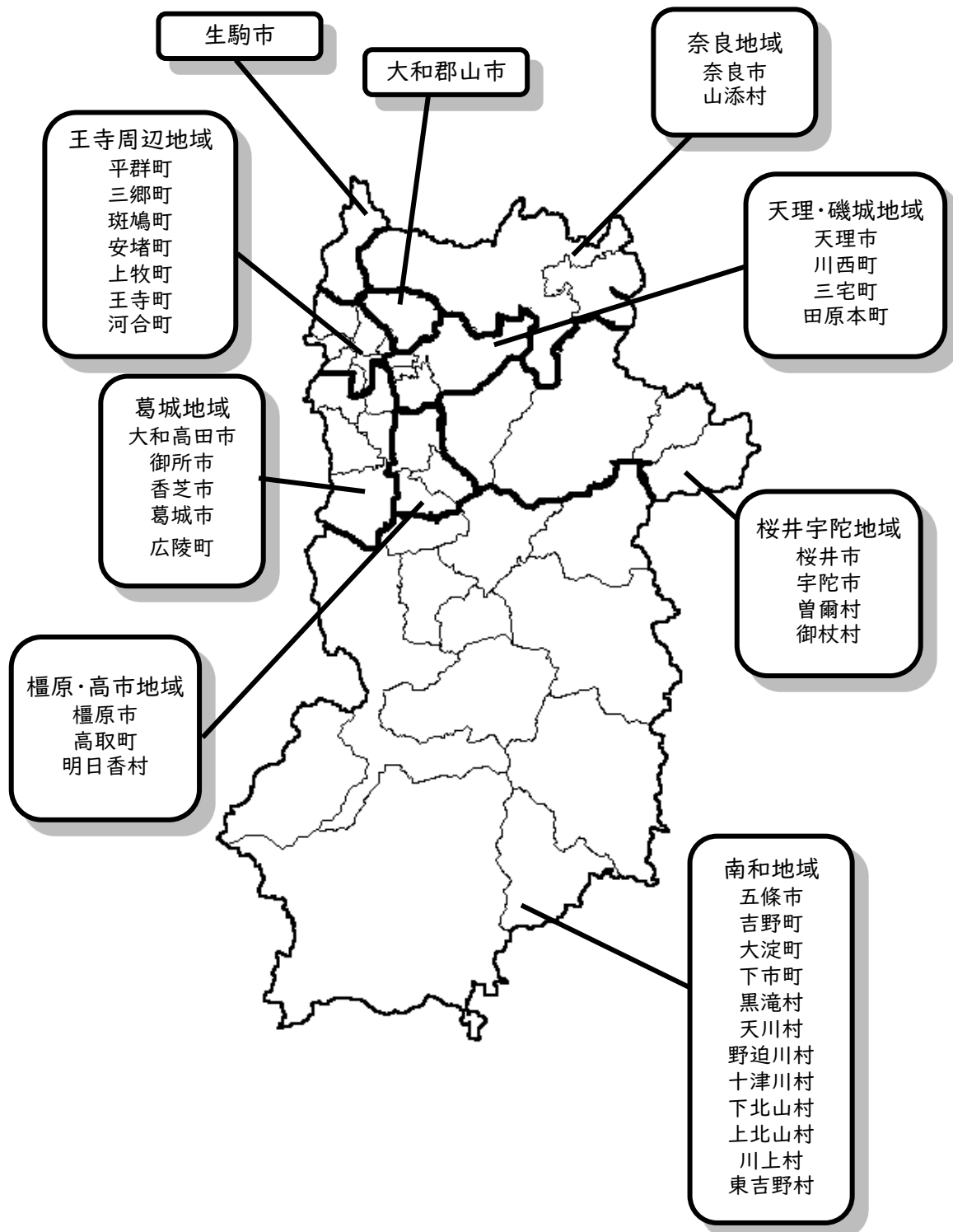
奈良県市町村民経済計算は、市町村における経済の規模、産業構造、所得水準などを包括的に把握することを目的として、市町村ごとの市町村内総生産(GDP)及び市町村民所得を推計したものです。

(推計方法)

奈良県県民経済計算(平成28年度版、令和元年9月公表)を経済センサス、事業所・企業統計調査、商業統計調査、工業統計調査など各種統計データで市町村ごとに按分することにより推計しました。

(地域区分)

平成18年4月1日現在の「奈良県広域市町村圏」を基準として、県内を2市と7地域に区分し、地域ごとにも推計を行っています。



※地域区分は、平成18年4月1日現在の広域市町村圏を基本としていますが、地理的状况から、山添村は奈良地域として区分しています。

I 平成28年度 奈良県県民経済計算(名目)の概要

県 全 域

- 県内総生産(名目)：3兆6,507億円(国 536兆7,950億円)
- 経済成長率(名目)：+2.6% (国 +0.7%)
- 1人当たり県民所得：252万2千円 対前年度比 +2.1%
- (参考) 1人当たり国民所得 308万2千円 対前年度比 +0.4%

平成28年度の県経済成長率(名目)は、+2.6%と4年連続のプラスとなった。卸売・小売業や金融・保険業などが減少したが、建設業や製造業などが増加したことによる。

1人当たり県民所得は、252万2千円で、対前年度比 +2.1%と2年連続のプラスとなった。1人当たり国民所得(308万2千円)に対して81.8%の水準となった。

図1 経済成長率(名目)の推移

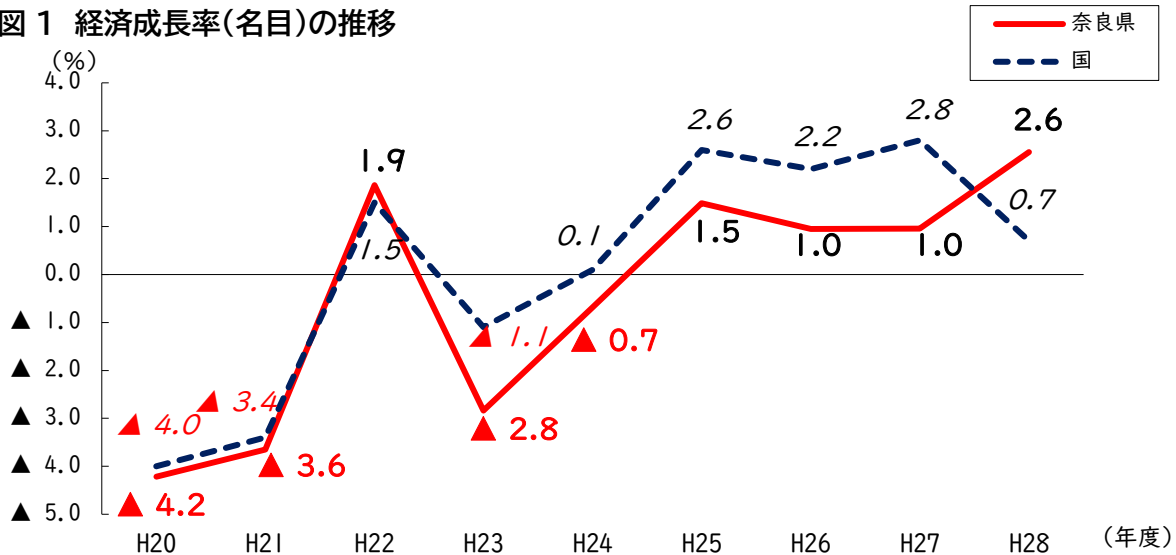


図2 1人当たり県(国)民所得の推移

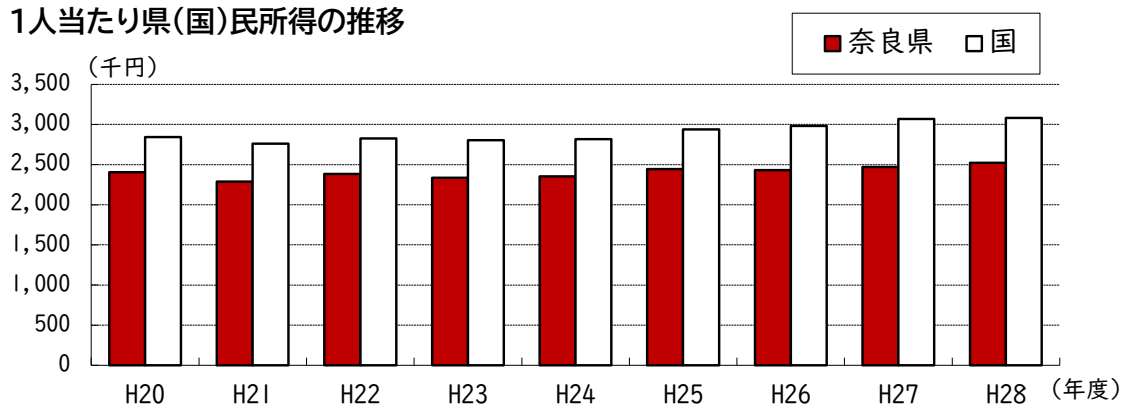


表1 経済成長率等の推移

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済成長率(名目) (%)	奈良県	▲ 4.2	▲ 3.6	1.9	▲ 2.8	▲ 0.7	1.5	1.0	1.0	2.6
	国	▲ 4.0	▲ 3.4	1.5	▲ 1.1	0.1	2.6	2.2	2.8	0.7
県(国)内総生産(名目) (県：億円、国：10億円)	奈良県	36,338	35,013	35,664	34,653	34,416	34,927	35,260	35,597	36,507
	国	509,482	491,957	499,429	494,043	494,370	507,255	518,235	532,983	536,795
1人当たり県(国)民所得 (千円)	奈良県	2,407	2,291	2,386	2,336	2,355	2,445	2,431	2,471	2,522
	国	2,843	2,760	2,827	2,805	2,820	2,938	2,983	3,069	3,082

注) 国値は内閣府「平成29年度国民経済計算確報」【平成23暦年基準】

II 地域別にみた平成28年度奈良県市町村民経済計算の概要

地域別

1 地域内総生産(名目)

1.地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

○ 経済成長率(対前年度増加率)は、8地域でプラスとなった。

王寺周辺地域は+ 7.2%のプラス成長で建設業及び製造業が大きく寄与した。

図3 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

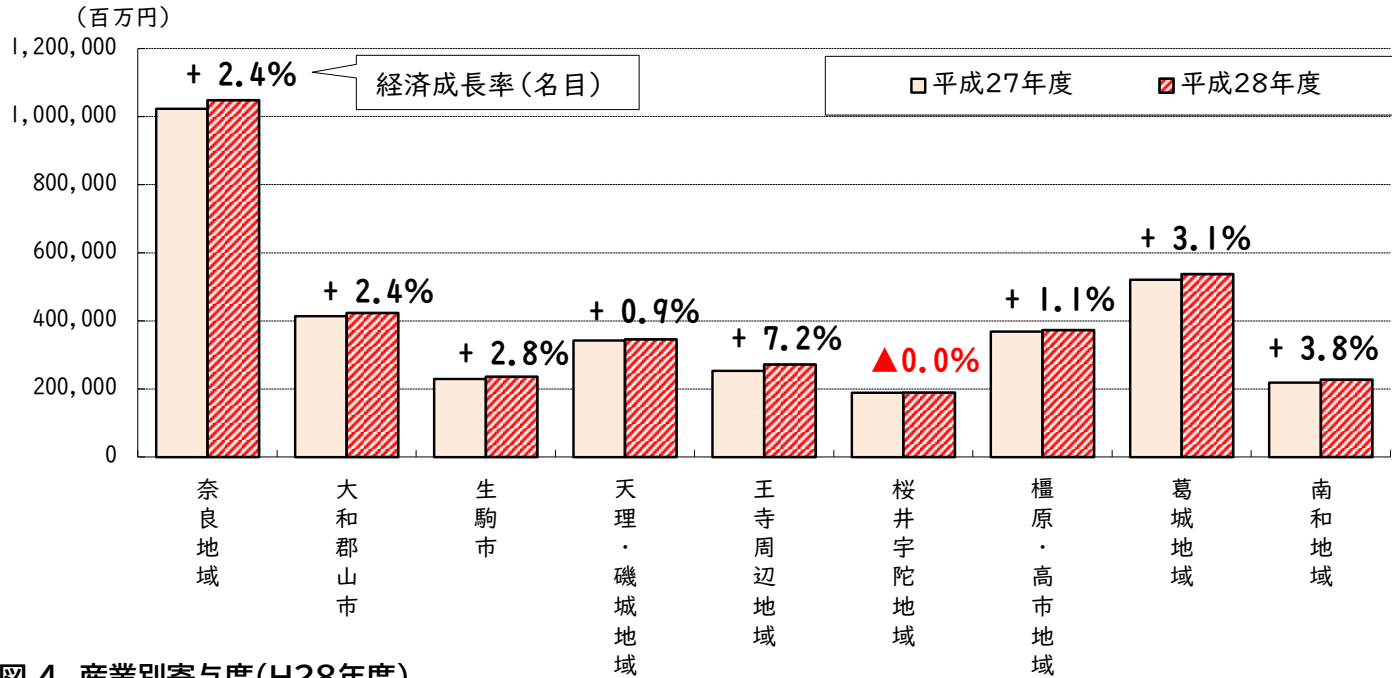


図4 産業別寄与度(H28年度)

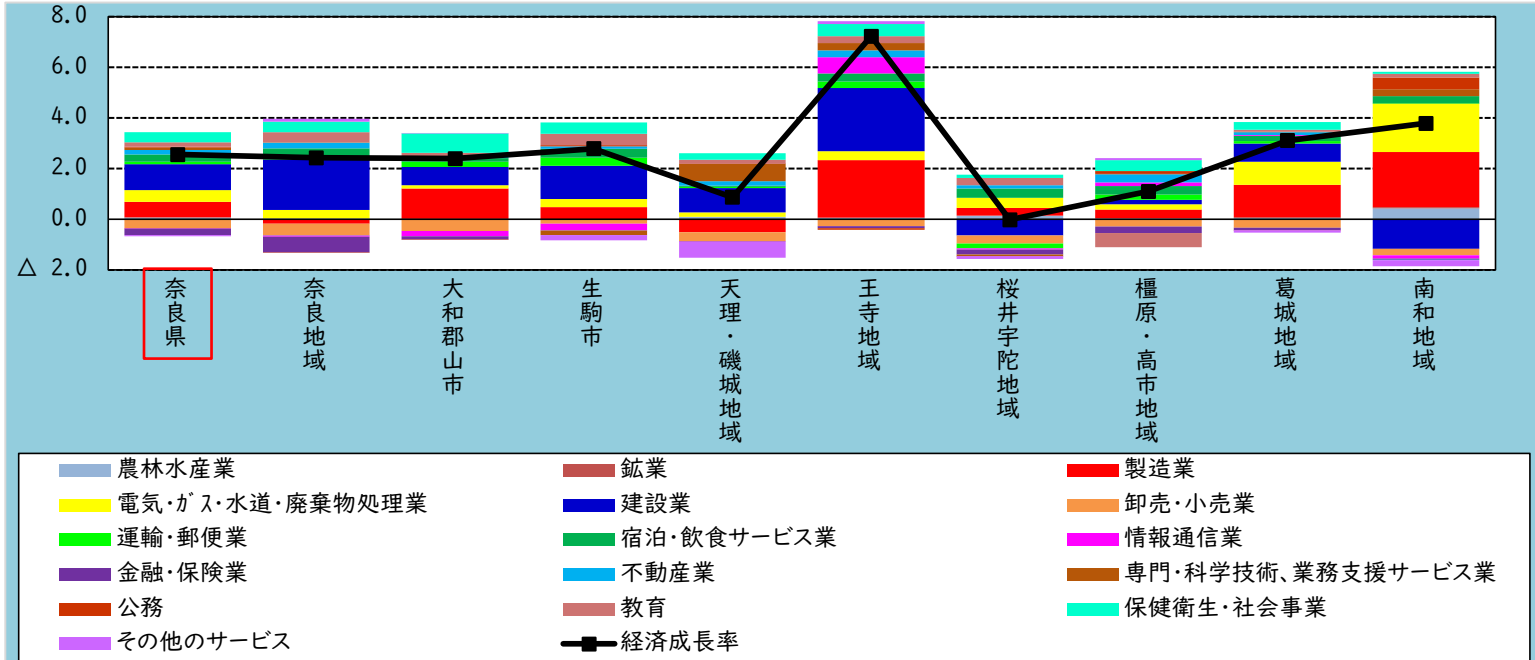


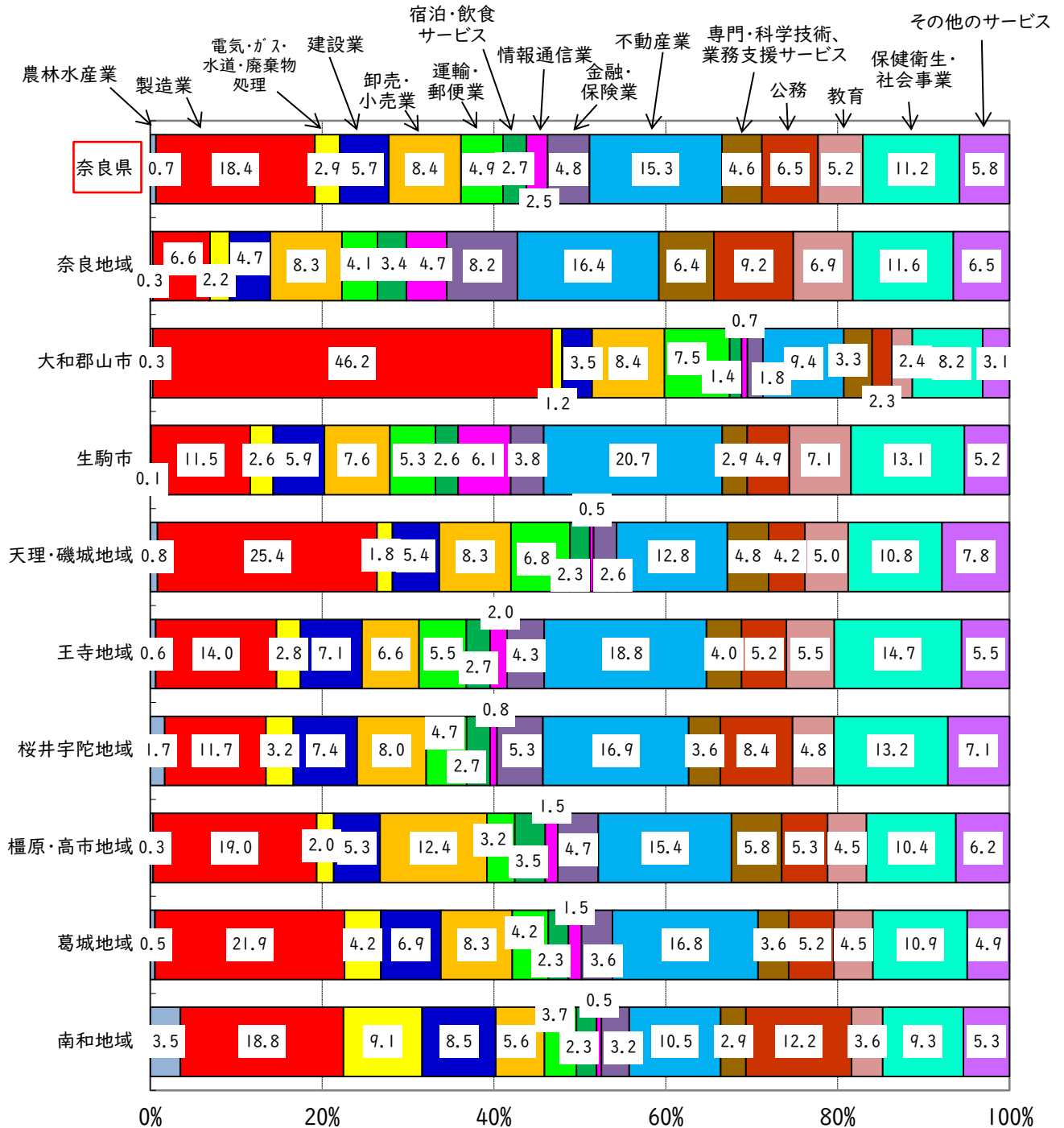
表2 地域内総生産の推移

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	実数(百万円)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)	実数(百万円)	前年度比(%)	
奈良県	3,566,448	3,465,321	▲ 2.8	3,441,610	▲ 0.7	3,492,743	1.5	3,526,026	1.0	3,559,730	1.0	3,650,718	2.6	
奈良地域	1,040,688	1,025,508	▲ 1.5	1,009,714	▲ 1.5	1,003,750	▲ 0.6	1,012,902	0.9	1,023,074	1.0	1,047,905	2.4	
大和郡山市	432,897	376,922	▲ 12.9	372,444	▲ 1.2	380,276	2.1	391,751	3.0	413,153	5.5	423,070	2.4	
生駒市	211,386	210,274	▲ 0.5	208,504	▲ 0.8	217,444	4.3	221,957	2.1	229,475	3.4	235,869	2.8	
天理・磯城地域	321,983	321,206	▲ 0.2	330,226	2.8	336,965	2.0	336,271	▲ 0.2	342,566	1.9	345,552	0.9	
王寺周辺地域	248,693	246,315	▲ 1.0	243,469	▲ 1.2	249,508	2.5	265,853	6.6	253,529	▲ 4.6	271,852	7.2	
桜井宇陀地域	197,589	191,526	▲ 3.1	190,717	▲ 0.4	186,787	▲ 2.1	186,128	▲ 0.4	189,352	1.7	189,318	▲ 0.0	
橿原・高市地域	370,702	358,139	▲ 3.4	364,922	1.9	376,532	3.2	368,440	▲ 2.1	368,670	0.1	372,732	1.1	
葛城地域	524,038	515,249	▲ 1.7	509,531	▲ 1.1	525,655	3.2	525,294	▲ 0.1	520,981	▲ 0.8	537,199	3.1	
南和地域	218,472	220,182	0.8	212,083	▲ 3.7	215,826	1.8	217,430	0.7	218,930	0.7	227,221	3.8	

2.地域内経済活動別構成比(産業構造 ①)

- 奈良地域 県全域と比べて金融・保険業、公務の割合が高い
- 大和郡山市 製造業の割合が4割以上と高い
- 生駒市、王寺地域 不動産業(帰属家賃含む)の割合が高い
- 天理・磯城地域 製造業、その他のサービス(宗教含む)の割合が高い
- 南和地域 電気・ガス・水道・廃棄物処理、公務の割合が高い

図 5 地域内経済活動別構成比(H28年度)



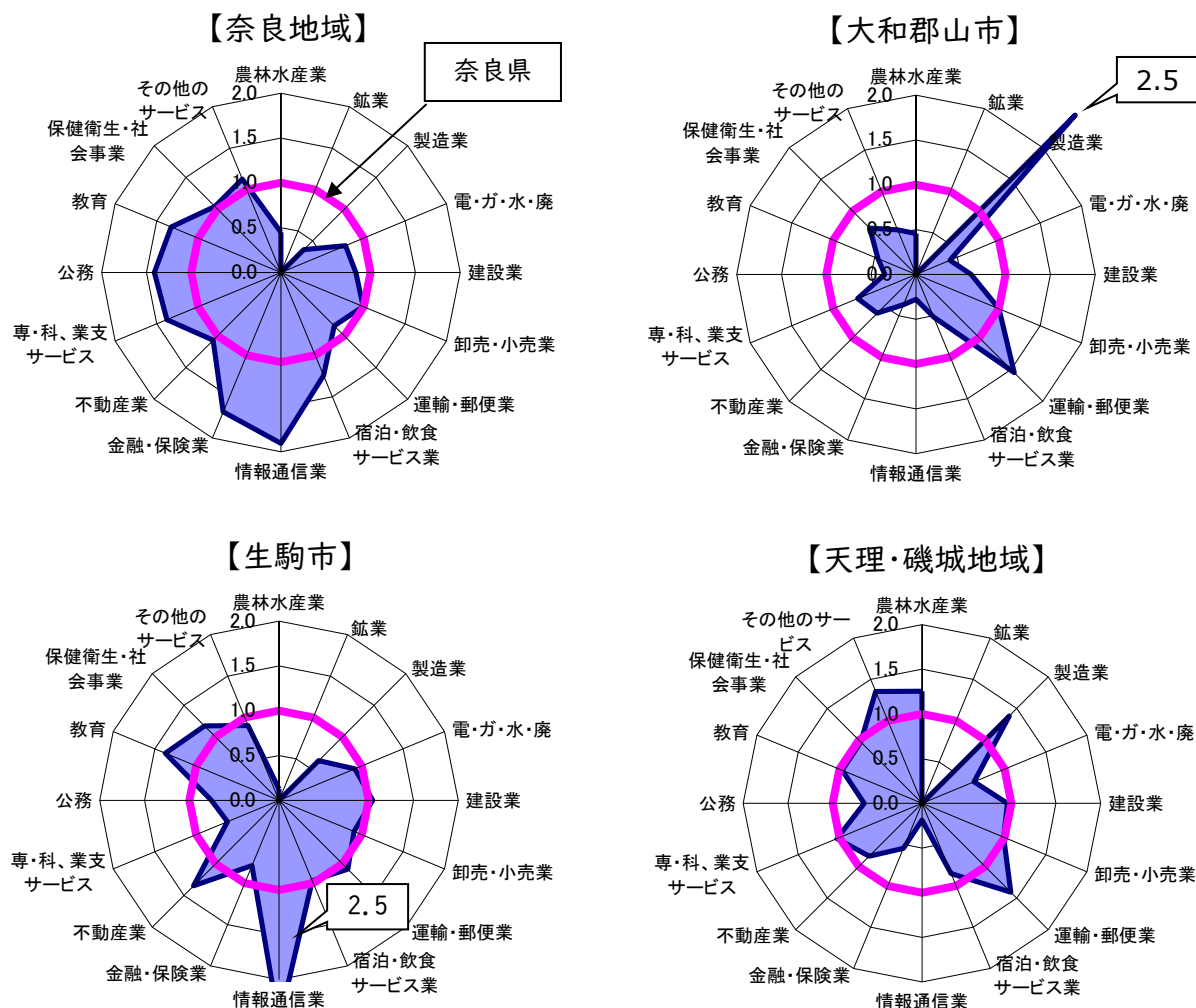
※鉱業は、県全体の構成比が0.05%未満のため非表示。

3.地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造 ②)

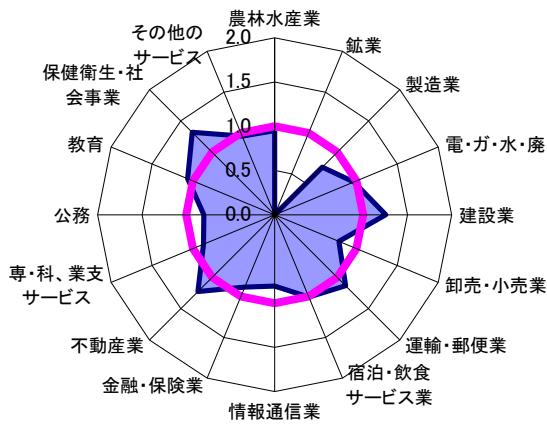
奈良県全体と比較して特化している(特徴的な)産業

- 奈良地域……………情報通信業、金融・保険業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育
- 大和郡山市……………製造業、運輸・郵便業
- 生駒市……………情報通信業、不動産業、教育
- 天理・磯城地域…農林水産業、製造業、運輸・郵便業、その他のサービス
- 王寺周辺地域……建設業、保健衛生・社会事業
- 桜井宇陀地域……農林水産業、建設業、公務
- 橿原・高市地域…卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、専門・科学技術、業務支援サービス業
- 葛城地域……………鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業
- 南和地域……………農林水産業、鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、建設業、公務

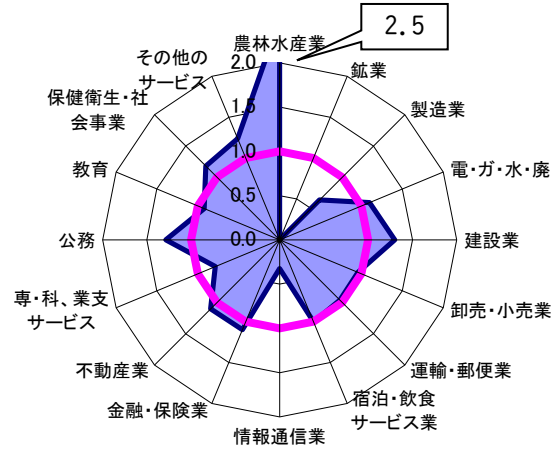
図 6 地域内総生産の経済活動別特化係数(H28年度)



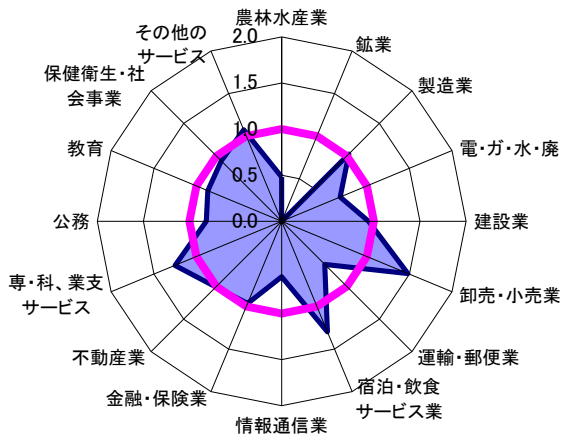
【王寺周辺地域】



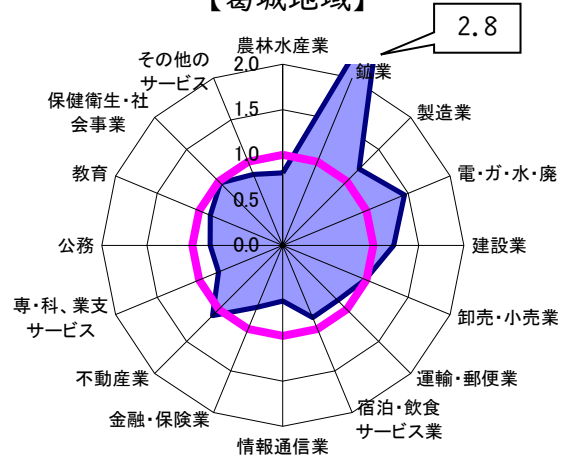
【桜井宇陀地域】



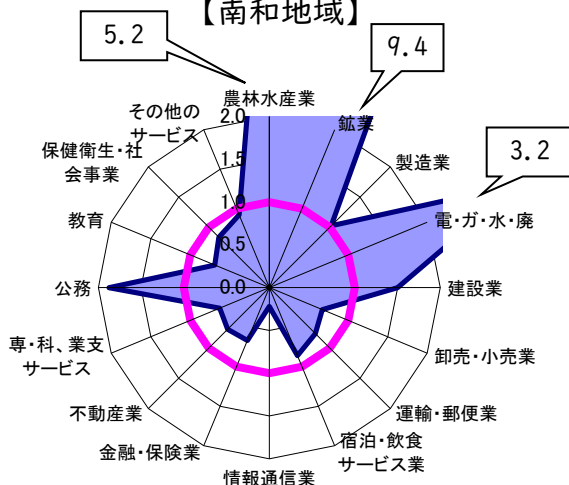
【檀原・高市地域】



【葛城地域】



【南和地域】



特化係数

特化係数は、各地域の各経済活動別構成比を県の構成比と比較して、県からみた相対的な偏りを表す指標です。

この値が1.0(県平均)を離れるほど、県と比較して特徴的な構成を示していることとなりますが、その産業の特化係数が高いからといって、その地域の主要産業であるとは限りません。

$$\text{特化係数} = \frac{\text{各地域の各経済活動別構成比}}{\text{県の各経済活動別構成比}}$$

※電・ガ・水・廃=電気・ガス・水道・廃棄物処理業
 ※専・科・業支サービス=専門・科学、業務支援サービス業

2 地域別の市町村民所得(名目)

1.地域別市町村民所得(総額)

○ 地域別市町村民所得が最も高いのは、奈良地域 1兆291億円。(県内シェア30.1%)

平成28年度の地域別市町村民所得は、奈良地域 1兆291億円、次いで葛城地域 5,767億円、生駒市 3,693億円、王寺周辺地域 3,315億円、橿原・高市地域 3,304億円、天理・磯城地域 2,419億円、大和郡山市 2,163億円、桜井宇陀地域 1,831億円、南和地域 1,431億円となった。

図7 県民所得の地域別構成比(H28年度)

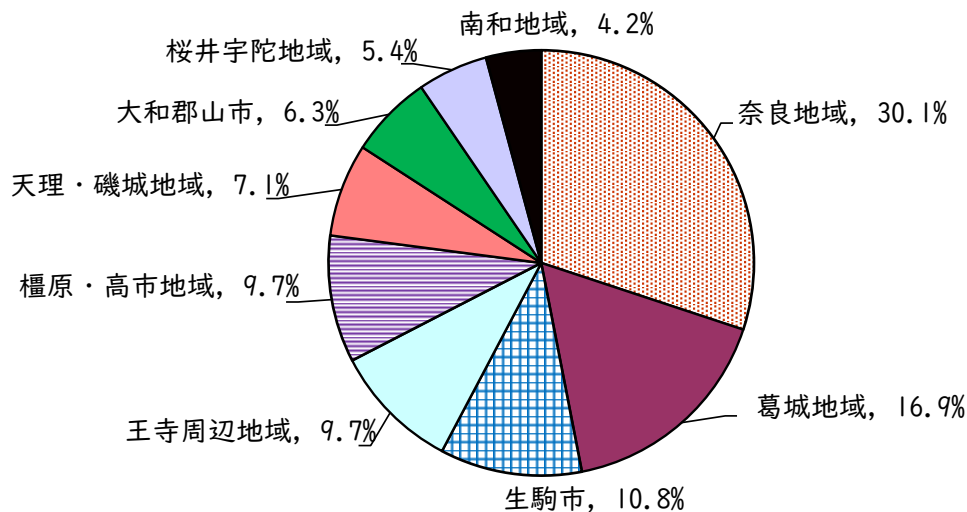


図8 地域別市町村民所得の要素別構成比(H28年度)

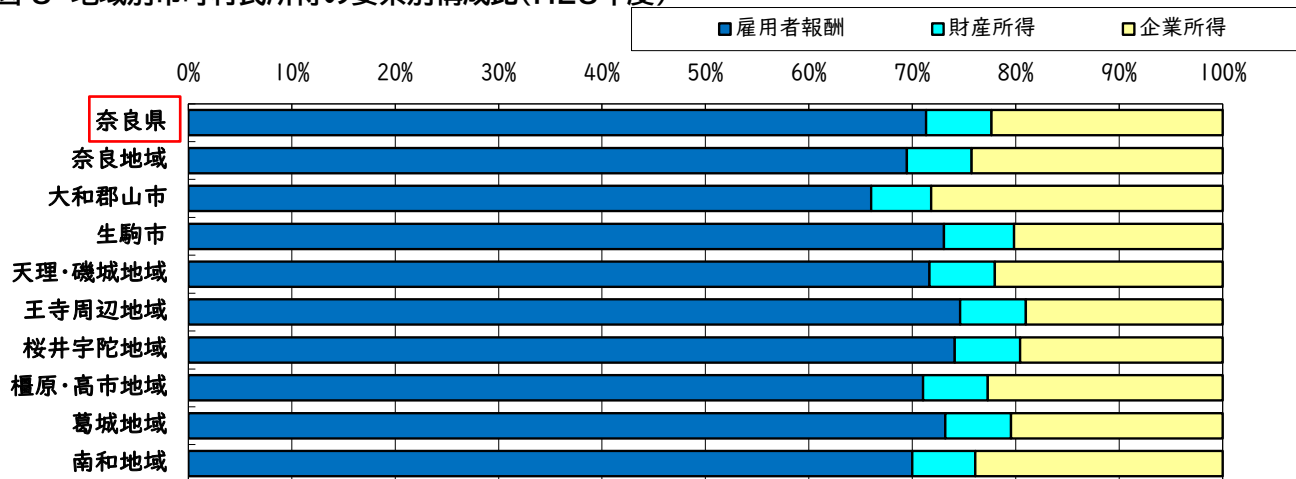


表3 地域別市町村民所得(H28年度)

(単位:百万円)

	市町村民所得(分配)			雇用者報酬			財産所得			企業所得		
	県内でのシェア(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)		構成比(%)	前年度比(%)	
奈良県	3,421,265	100.0	1.5	2,440,856	71.3	▲0.3	216,204	6.3	0.6	764,205	22.3	7.8
奈良地域	1,029,062	30.1	0.9	714,902	69.5	▲0.5	64,418	6.3	0.6	249,742	24.3	5.0
大和郡山市	216,273	6.3	▲0.2	142,785	66.0	▲0.8	12,552	5.8	▲0.7	60,936	28.2	1.4
生駒市	369,282	10.8	3.0	269,844	73.1	0.1	25,036	6.8	0.8	74,402	20.1	16.3
天理・磯城地域	241,896	7.1	▲1.1	173,334	71.7	▲0.8	15,342	6.3	▲0.6	53,220	22.0	▲2.4
王寺周辺地域	331,464	9.7	2.0	247,345	74.6	▲0.3	21,108	6.4	0.2	63,011	19.0	13.3
桜井宇陀地域	183,141	5.4	2.5	135,734	74.1	▲0.4	11,593	6.3	2.0	35,814	19.6	15.1
橿原・高市地域	330,385	9.7	1.9	234,674	71.0	0.2	20,678	6.3	0.5	75,033	22.7	8.0
葛城地域	576,657	16.9	2.3	422,069	73.2	0.2	36,740	6.4	1.1	117,848	20.4	10.9
南和地域	143,105	4.2	2.1	100,169	70.0	▲1.5	8,737	6.1	2.0	34,199	23.9	14.2

2.地域別の1人当たり市町村民所得

○ 1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市 312万9千円。(対前年度比 + 3.9%)

平成28年度の地域別の1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市の312万9千円、次いで奈良地域の284万1千円で、この2地域が1人当たり県民所得(252万2千円)を上回った。

一方、大和郡山市の250万2千円、橿原・高市地域242万7千円、葛城地域241万3千円、王寺周辺地域237万1千円、天理・磯城地域の212万8千円、桜井宇陀地域202万7千円、南和地域202万2千円の7地域が、1人当たり県民所得を下回った。

対前年度増加率をみると、7地域がプラス、2地域がマイナスとなった。

なお、市町村民経済計算の示す所得とは、個人や企業、一般政府など各地域全体としての経済規模・活動状況を表したもので、個人の「所得」の状況を表したものではありません。

図9 地域別1人当たり市町村民所得と増減率

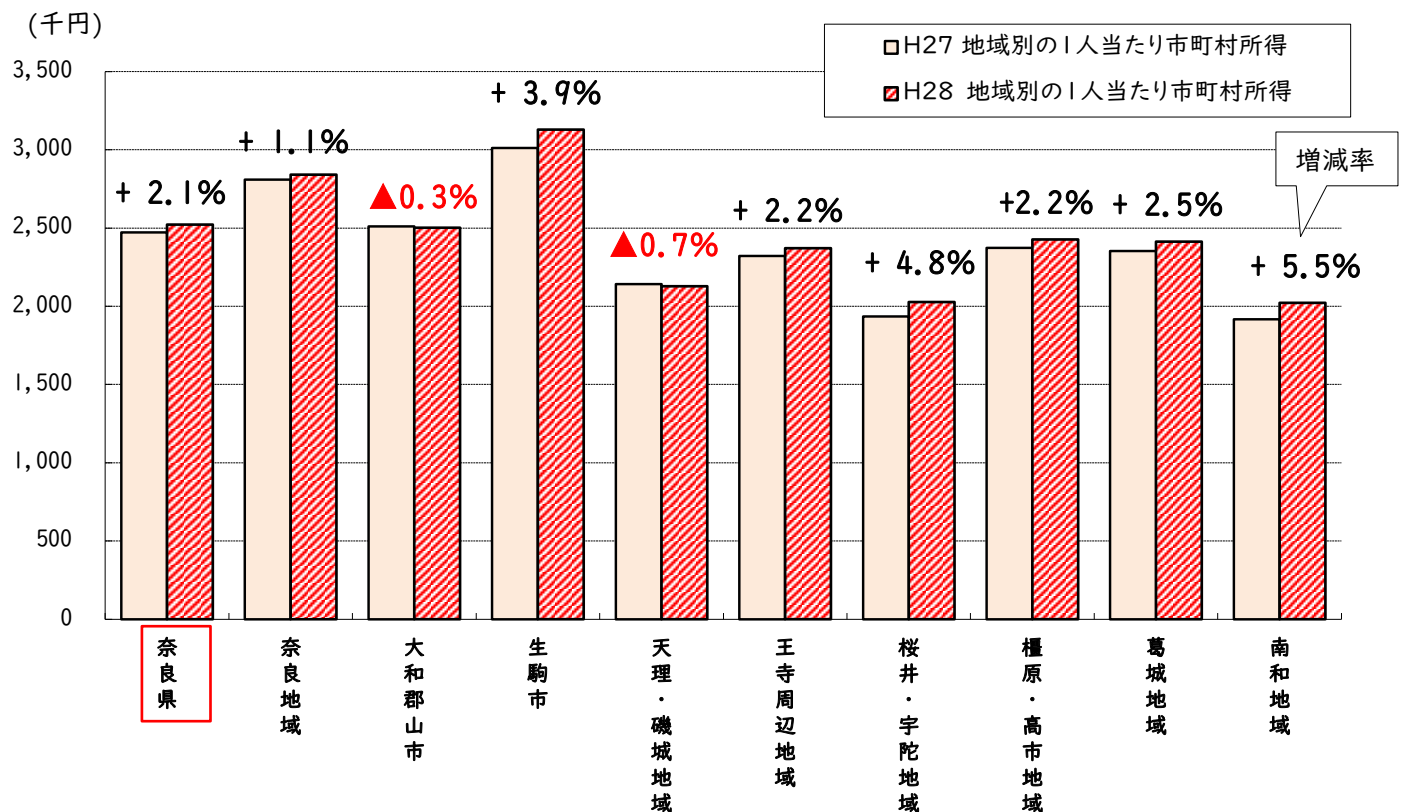


表4 地域別1人当たり市町村民所得の推移

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	実数(千円)	実数(千円)	前年度比(%)	実数(千円)	前年度比(%)	実数(千円)	前年度比(%)	実数(千円)	前年度比(%)	実数(千円)	前年度比(%)	
奈良県	2,336	2,355	0.8	2,445	3.8	2,431	▲ 0.6	2,471	1.6	2,522	2.1	
奈良地域	2,644	2,655	0.4	2,771	4.4	2,740	▲ 1.0	2,809	2.5	2,841	1.1	
大和郡山市	2,448	2,384	▲ 2.6	2,453	2.9	2,431	▲ 0.9	2,510	3.2	2,502	▲ 0.3	
生駒市	2,848	2,910	2.2	2,992	2.8	2,987	▲ 0.2	3,012	0.8	3,129	3.9	
天理・磯城地域	2,029	2,021	▲ 0.4	2,095	3.7	2,101	0.3	2,142	2.0	2,128	▲ 0.7	
王寺周辺地域	2,252	2,286	1.5	2,347	2.7	2,329	▲ 0.8	2,321	▲ 0.3	2,371	2.2	
桜井・宇陀地域	1,848	1,879	1.7	1,939	3.2	1,915	▲ 1.2	1,935	1.0	2,027	4.8	
橿原・高市地域	2,207	2,225	0.8	2,352	5.7	2,359	0.3	2,374	0.6	2,427	2.2	
葛城地域	2,223	2,258	1.6	2,318	2.7	2,318	0.0	2,354	1.6	2,413	2.5	
南和地域	1,791	1,808	0.9	1,920	6.2	1,882	▲ 2.0	1,917	1.9	2,022	5.5	

Ⅲ 市町村別にみた平成28年度市町村民経済計算結果の概要

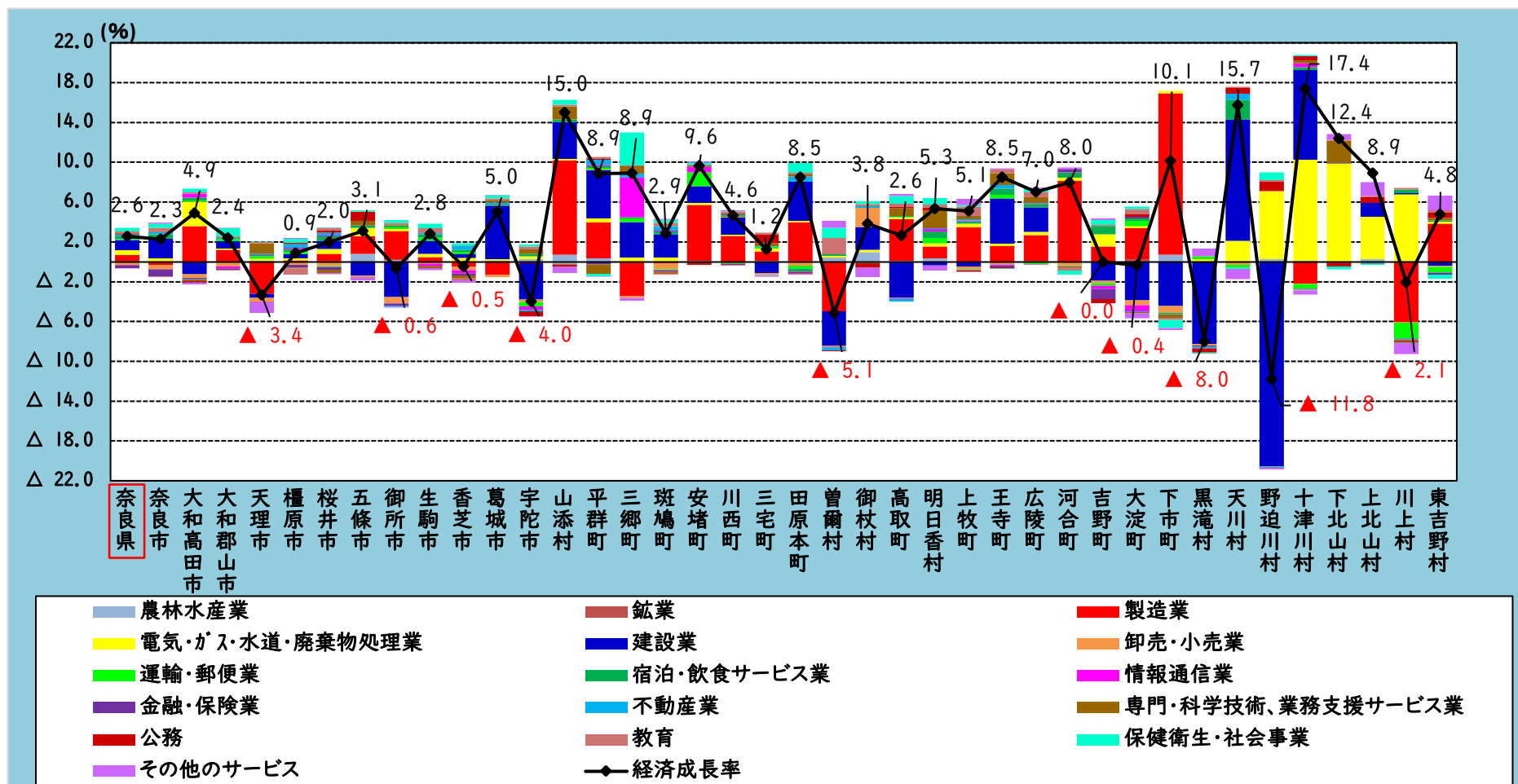
市町村別

1 市町村内総生産(名目)

1.市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度

- 実際の取引額で算出した平成28年度の名目成長率は、十津川村、天川村、山添村等の29の市町村でプラス。
- プラス成長の市町村は、製造業や建設業等の寄与度がプラスとなったことが大きく、マイナス成長の市町村(野迫川村、黒滝村等)は逆に、製造業や建設業等の寄与度がマイナスとなった。

図 10 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度 (H28年度)



注) 御杖村、黒滝村、野迫川村、下北山村及び上北山村は秘匿により、製造業及び宿泊・飲食サービス業の寄与度を算出していないため、寄与度の合計が経済成長率に一致しない。

2.市町村ごとの総生産(名目)

- 総生産の県内シェアは奈良市が一番大きく、28.3%。以下、大和郡山市(11.6%)、橿原市(9.4%)、生駒市(6.5%)等の市がつづく。
- 町村の中では、田原本町(2.6%)が一番大きく、以下、広陵町(1.7%)、王寺町(1.7%)がつづく。

表 5 市町村ごとの総生産(名目)と県内シェア等 (H28年度)

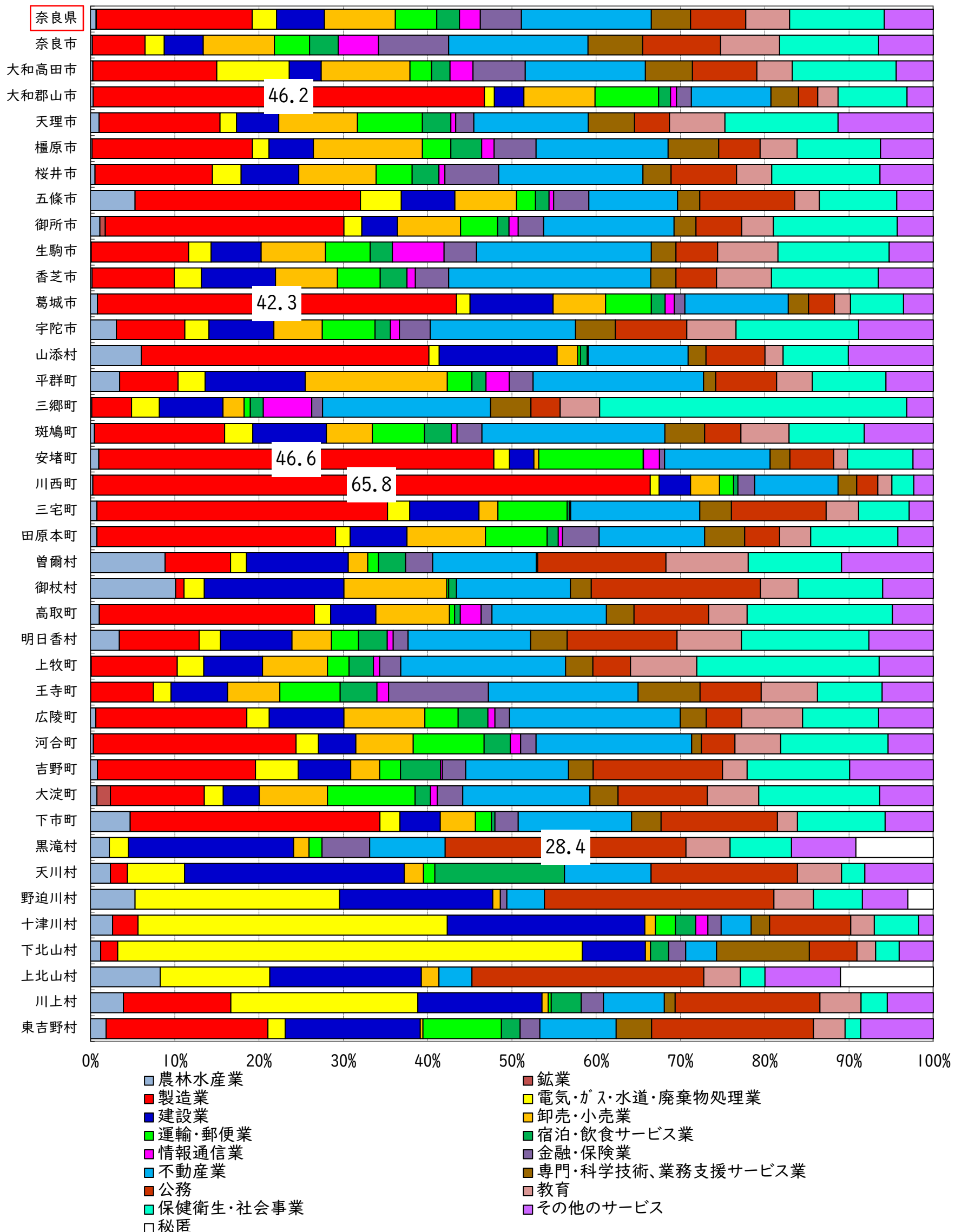
	H27年度	H28年度	成長率	県内シェア
奈良県	3,559,730	3,650,718	2.6	100.0
奈良市	1,010,399	1,033,328	2.3	28.3
大和高田市	148,960	156,241	4.9	4.3
大和郡山市	413,153	423,070	2.4	11.6
天理市	198,630	191,971	▲ 3.4	5.3
橿原市	339,894	342,904	0.9	9.4
桜井市	121,837	124,244	2.0	3.4
五條市	101,890	105,045	3.1	2.9
御所市	72,189	71,730	▲ 0.6	2.0
生駒市	229,475	235,869	2.8	6.5
香芝市	124,558	123,979	▲ 0.5	3.4
葛城市	115,659	121,445	5.0	3.3
宇陀市	59,305	56,950	▲ 4.0	1.6
山添村	12,675	14,577	15.0	0.4
平群町	28,664	31,211	8.9	0.9
三郷町	36,111	39,331	8.9	1.1
斑鳩町	40,949	42,119	2.9	1.2
安堵町	19,935	21,858	9.6	0.6
川西町	41,357	43,280	4.6	1.2
三宅町	13,641	13,809	1.2	0.4

	H27年度	H28年度	成長率	県内シェア
田原本町	88,938	96,492	8.5	2.6
曾爾村	4,457	4,228	▲ 5.1	0.1
御杖村	3,753	3,896	3.8	0.1
高取町	17,800	18,267	2.6	0.5
明日香村	10,976	11,561	5.3	0.3
上牧町	36,405	38,261	5.1	1.0
王寺町	57,020	61,877	8.5	1.7
広陵町	59,615	63,804	7.0	1.7
河合町	34,445	37,195	8.0	1.0
吉野町	20,692	20,691	▲ 0.0	0.6
大淀町	41,599	41,452	▲ 0.4	1.1
下市町	11,159	12,291	10.1	0.3
黒滝村	1,964	1,807	▲ 8.0	0.0
天川村	4,164	4,819	15.7	0.1
野迫川村	2,526	2,228	▲ 11.8	0.1
十津川村	16,643	19,536	17.4	0.5
下北山村	5,967	6,706	12.4	0.2
上北山村	2,216	2,413	8.9	0.1
川上村	5,253	5,145	▲ 2.1	0.1
東吉野村	4,857	5,088	4.8	0.1

3.市町村内総生産の経済活動別構成比

- 経済活動別で製造業の構成比が一番高い市町村は、17市町村で、川西町(65.8%)、安堵町(46.6%)、大和郡山市(46.2%)、葛城市(42.3%)などとなっている。
- 公務の比率が高い市町村は、黒滝村(28.4%)をはじめ吉野郡の町村に多い。

図 11 市町村内総生産の経済活動別構成比 (H28年度)



注 1) 輸入品にかかる税・関税等を加算する前の構成比で比較

注 2) 黒滝村、野迫川村及び下北山村は製造業及び宿泊・飲食サービス業が秘匿となっている

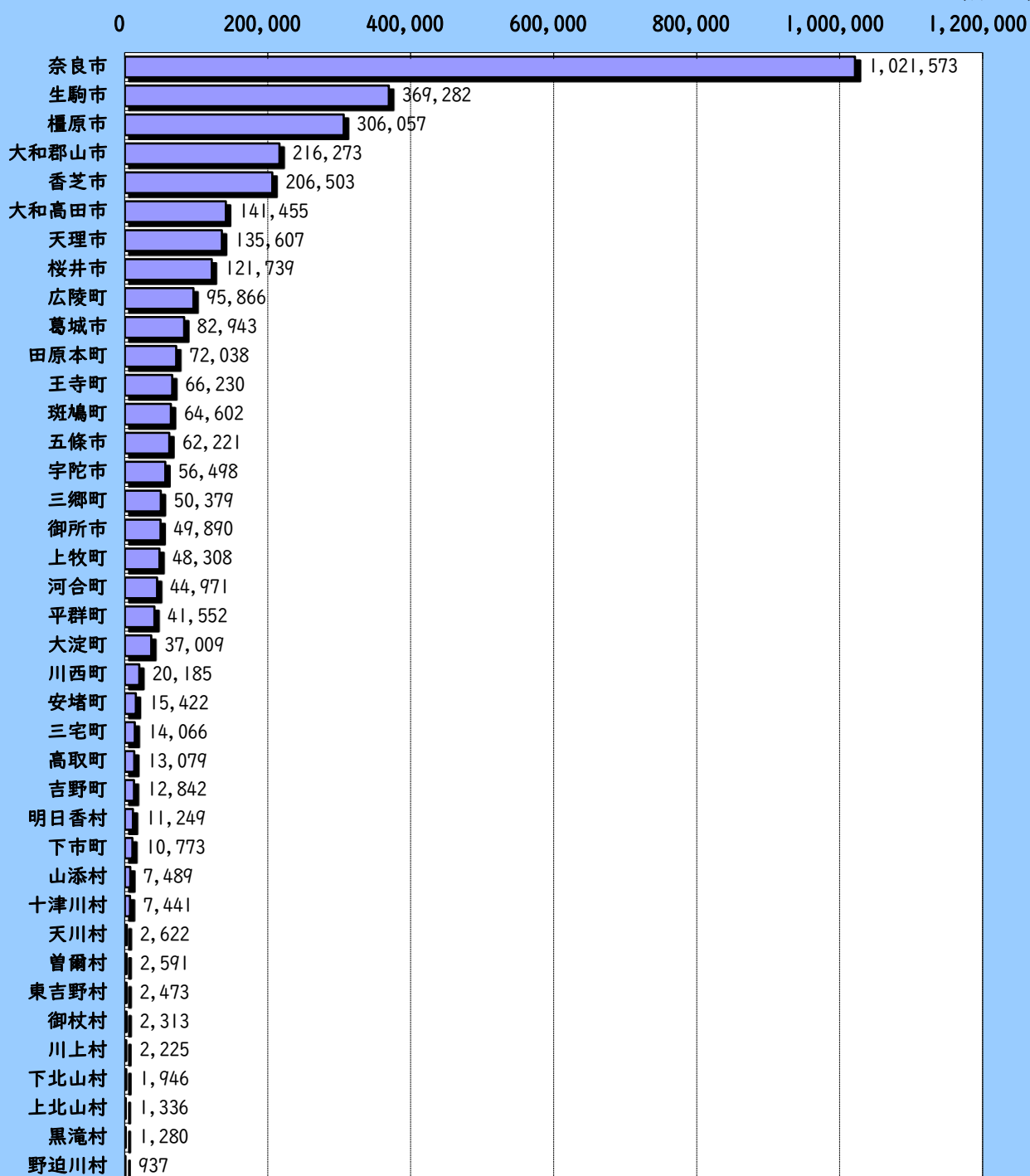
2 市町村民所得(名目)

1.市町村ごとの市町村民所得(総額)

○ 奈良市が1兆216億円で最も高く、次いで生駒市3,693億円、橿原市3,061億円と続く。

図 12 市町村民所得(H28年度)

(百万円)



2.市町村ごとの1人当たり市町村民所得

注) 1人当たり市町村民所得= 雇⽤者所得+財産所得+企業所得(企業の利潤等)の合計を市町村人口で除したものであり、給料等の水準を表すものではありません。

- 奈良県の1人当たり県民所得を上回るのは、生駒市(312万9千円)、広陵町(285万7千円)、王寺町(285万4千円)等、7市町村。
- 大阪府等への通勤者が多く、大阪府等から雇⽤者報酬を得ている市町村が、県水準を上回る傾向にある。

図 13 1人当たり市町村民所得(H28年度)

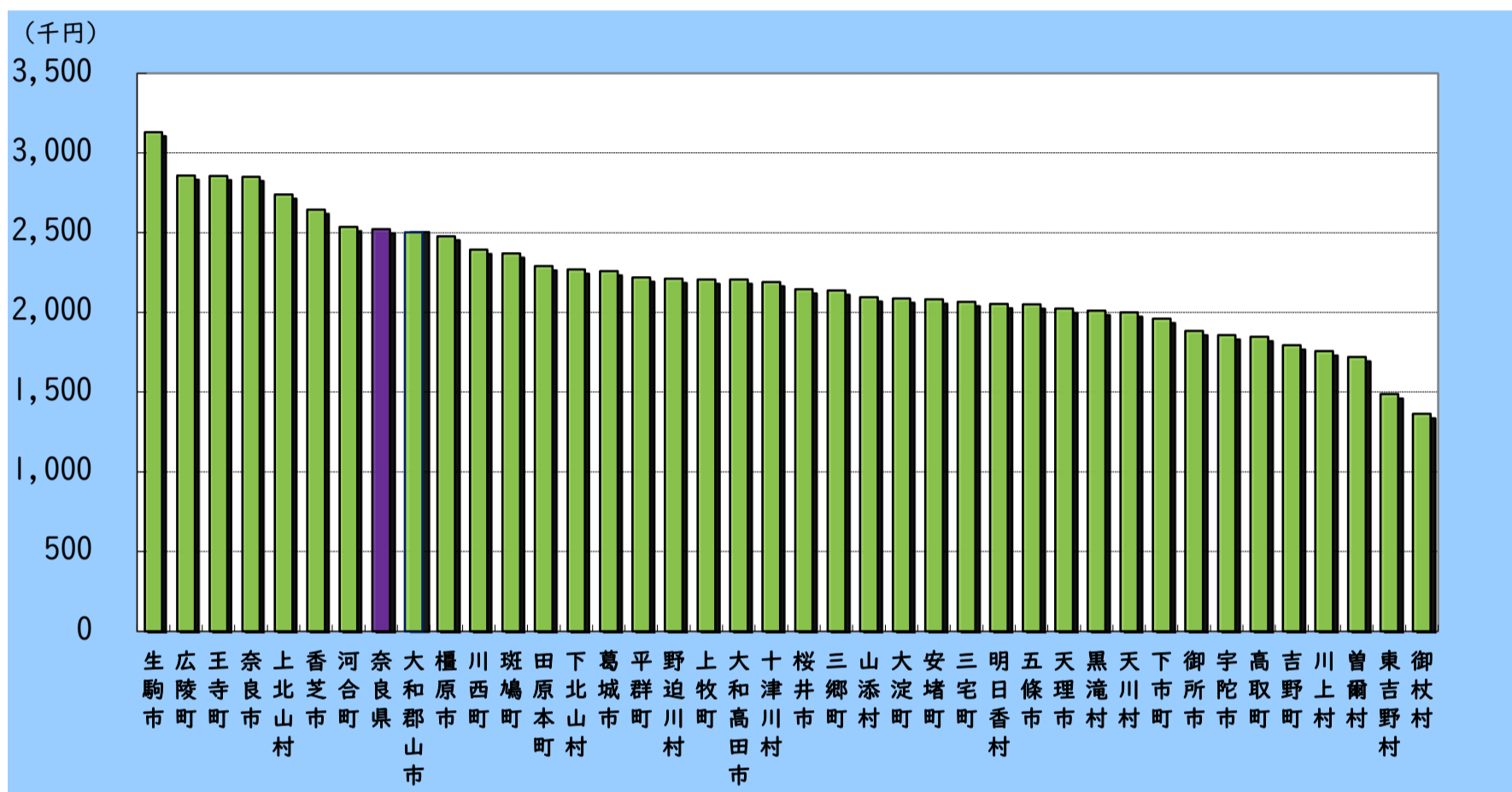


表 6 市町村ごとの1人当たり市町村民所得(H28年度)

(単位:千円、%)

	H27年度	H28年度	増減率	水準
奈良県	2,471	2,522	2.1	100.0
奈良市	2,817	2,849	1.1	113.0
大和高田市	2,159	2,206	2.2	87.5
大和郡山市	2,510	2,502	▲ 0.3	99.2
天理市	2,056	2,025	▲ 1.5	80.3
橿原市	2,423	2,477	2.2	98.2
桜井市	2,035	2,146	5.5	85.1
五條市	1,952	2,050	5.0	81.3
御所市	1,821	1,883	3.4	74.7
生駒市	3,012	3,129	3.9	124.1
香芝市	2,609	2,645	1.4	104.9
葛城市	2,207	2,260	2.4	89.6
宇陀市	1,800	1,858	3.2	73.7
山添村	2,036	2,094	2.8	83.0
平群町	2,207	2,219	0.5	88.0
三郷町	2,089	2,138	2.3	84.8
斑鳩町	2,316	2,370	2.3	94.0
安堵町	2,032	2,081	2.4	82.5
川西町	2,500	2,394	▲ 4.2	94.9
三宅町	1,957	2,066	5.6	81.9

(単位:千円、%)

	H27年度	H28年度	増減率	水準
田原本町	2,270	2,290	0.9	90.8
曾爾村	1,626	1,719	5.7	68.2
御杖村	1,307	1,364	4.4	54.1
高取町	1,823	1,846	1.3	73.2
明日香村	1,974	2,053	4.0	81.4
上牧町	2,151	2,207	2.6	87.5
王寺町	2,829	2,854	0.9	113.2
広陵町	2,729	2,857	4.7	113.3
河合町	2,439	2,536	4.0	100.6
吉野町	1,763	1,795	1.8	71.2
大淀町	1,997	2,088	4.6	82.8
下市町	1,747	1,960	12.2	77.7
黒滝村	1,834	2,010	9.6	79.7
天川村	1,756	2,001	14.0	79.3
野迫川村	2,175	2,211	1.7	87.7
十津川村	1,958	2,190	11.8	86.8
下北山村	2,308	2,269	▲ 1.7	90.0
上北山村	2,570	2,739	6.6	108.6
川上村	1,671	1,757	5.1	69.7
東吉野村	1,460	1,489	2.0	59.0